

次の時代に残していくもの
新しい時代に引き継ぎたい

芦屋の平成

昭和63年(1988)10月

芦屋市谷崎潤一郎記念館 開館

「春琴抄」「陰翳礼讃」などで日本的な美意識を開花させた文豪、谷崎潤一郎(1886～1965年)。

谷崎は1934年から2年半、兵庫県武庫郡精道村(現・富田砕花旧居)で暮らし、神戸市へ転居した後代表作「細雪」の舞台を芦屋に設定するなど、生涯この地に愛着を抱き続けました。



谷崎潤一郎記念館

当館は、昭和63年(1988)年10月8日に開館して30年。遺族から寄贈・寄託され、または購入した直筆原稿「武州公秘話」や心情あふれる恋文、親交のあった版画家の棟方志功の美術作品など、12,000点を超える貴重な資料を収蔵しています。



再現された書斎



谷崎潤一郎

年4回の特別展・通常展のほか、書斎を再現したコーナー、谷崎好みの日本庭園で谷崎文学の香気をお楽しみください。

谷崎潤一郎記念館 学芸員
永井 敦子



平成3年(1991)3月

芦屋市立美術博物館 開館

芦屋市立美術博物館は、平成3年(1991)芦屋市制施行50周年記念事業として開館した。以来、美術部門と歴史部門を併せた総合として、具体美術協会会員や小出楯重の作品など芦屋ゆかりの美術家を中心に、近現代美術作品や、芦屋の自然や歴史に関する文化財古資料などを、収蔵し展示しています。



第64回芦屋市展講評会



美術博物館

芦屋市 平成のできごと(文化・芸術・文化財)

1989 平成元年	1990 平成2年	1991 平成3年	1995 平成7年	2000 平成12年	2004 平成16年	2005 平成17年	2009 平成21年	2010 平成22年	2011 平成23年	2012 平成24年	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 平成31年
<ul style="list-style-type: none"> ▼ 第1回あしや秋まつり開催 ▼ ヨドコウ迎賓館一般公開開始 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 市制施行50周年 ▼ 富田砕花賞を創設 ▼ 市指定文化財第1号として親王寺所蔵考古資料一括と旧三条村共有文書一括を指定 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 市立美術博物館オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 阪神・淡路大震災 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 市制施行60周年 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「芦屋庭園都市」を宣言 ▼ 総合公園完成 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 親水西公園・潮音屋緑地・潮音屋ビーチ完成 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 旧松山家住宅松濤館(図書館打出分室)が国登録有形文化財に登録 ▼ 全市域を景観法・景観地区に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 市制施行70周年 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 会下山遺跡が国指定史跡に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 芦屋川の文化的景観を市指定文化財に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 旧芦屋郵便局電話事務室(芦屋モノリス)が国登録有形文化財に登録 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 芦屋仏教会館が国登録有形文化財に登録 ▼ 芦屋仏教会館、カトリック芦屋教会を市景観重要建造物に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ ヨドコウ迎賓館リニューアルオープン
<p>ヨドコウ迎賓館</p>			<p>阪神・淡路大震災で被災した商店街</p>			<p>旧松山家住宅松濤館(図書館打出分室)</p>		<p>旧芦屋郵便局電話事務室(芦屋モノリス)</p>		<p>芦屋仏教会館</p>			

新
平成
六甲南
「阪神
遺産は
話事務
通った
文化財
モタ
を顕章
ベルリ
た交響
される
ベル
指揮者
を振っ
平成